

大空に放った、平和を願う思い

「西原町平和音楽祭2014」で、
平和の象徴として鳩型の風船を空へ放ちました。



町の世帯・人口 平成26年6月30日現在

人口	男	17,612人
	女	17,550人
	計	35,162人
世帯数		13,661世帯
特定健診の受診状況 (平成26年6月末日現在)		
受診率		4.3%
平成26年度受診率目標		45.0%
目標まであと		2,680人

今月のトピックス

- 臨時福祉給付金 2
- 子育て世帯臨時特例給付金 3
- 町有地の売却について 4
- 平成27年度 西原町職員採用候補者試験実施要項 6
- 西原町緊急経済対策住宅リフォーム支援事業 7
- 「特別警報」について 8
- 「西原町のまちづくり」提案募集 9
- 選挙管理委員会からお知らせ 10
- 限度額適用・標準負担減額認定証(国保) 14
- 限度額適用・標準負担減額認定証(後期高齢者医療) 15
- 集団健診のご案内 16
- 夏休み 食育ワークショップ 17
- 高齢者の実態把握調査 18
- 児童扶養手当・特別児童扶養手当の「現況届」 19

西原町ホームページ <http://www.town.nishihara.okinawa.jp/>

大型MICE施設をマリンタウンに! 誘致実現に向けて住民大会を開催

沖縄県が計画している大型MICE施設をマリンタウン地区へ誘致するため、これまで西原・与那原両町が連携して誘致活動を実施してきました。7月末までに建設地の決定がされる予定となっていることを受け、6月29日にさわふじ未来ホールで「西原町大型MICE施設マリンタウン地区誘致住民大会」(同実行委員会主催)が開催されました。



大型MICE施設の誘致にあたっては、昨年11月に約2,000名が集って与那原町と合同で住民大会を実施。また、両町議会や関係団体では誘致に関して決議を行い、署名活動では5,734件の署名が集まりました。

この日の住民大会には約500名が参加。企業・団体や住民が一体となり、誘致の実現を訴えました。大会の最後には、西原町商工会青年部の島尻英明部長が「マリンタウン地区が候補地として最適。今後も誘致成功に向けて一致団結して活動をしていく」と、大会決議を提案し、参加者の拍手で採択しました。



上間明町長あいさつ

大型MICE施設をマリンタウン地域に誘致することは、西原・与那原町の活性化だけでなく、これまで沖縄本島西海岸沿いに偏ってきた整備計画から、県全土の均衡のとれた振興を実現できる。住民大会や署名運動など、大型MICE施設誘致成功に向けた町民の熱意が形になっている。西原町民の熱意が、東海岸の住民に広がり、大きなうねりとなり、誘致の実現につながることを祈念している。



儀間 信子
西原町議会議長



濱門 稔
西原町商工会長



新田 宗信
西原町行政区
自治会長



喜納 昌春
沖縄県議会議長



新里 米吉
沖縄県議会議員



宮里 友常
中部地区議会
議長



島尻 英明
西原町商工会
青年部長

さわふじ未来ホール こけら落とし公演を開催



琉球古典音楽・舞踊公演



民謡公演



新作組踊「内間御鎖金丸」

西原町役場の新庁舎と併設する西原町町民交流センターにある「さわふじ未来ホール」のこけら落とし公演が、7月6日、13日、20日の3日間にわたって開催されました。今回のこけら落とし公演は西原町教育委員会と西原町文化協会が協働型事業として協定を結び、連携体制を構築して事業を主催しました。6日は「寿ぬ歌と踊り」と題した琉球古典音楽と舞踊の公演、13日は「わが町の祝え揃いあしは」と題した民謡の公演が披露されました。20日は新作組踊「内間御鎖金丸」の公演が行われました。この演目は平成10年に作られたもので、かつて内間御殿に住んでいた西原にゆかりの深い金丸(のちの尚円王)をテーマにした作品です。組踊を演じた立ち方、地謡は西原町民が出演した、自前の公演でした。

写真は「フォトスタジオさわふじ」より提供